

日本テスト学会第23回大会

一般発表セッション「テストの実践・活用」

学生はどのようなテスト研究に興味を持つのか？

石井秀宗・長橋宙夢
名古屋大学大学院教育発達科学研究科

2025年9月24日 (水)

- GIGAスクール, CBTなど, テストの需要は高まっている
- テストの専門家が足りない
- テスト研究をしようとする学生が少ない
- より多くの学生にテスト研究に興味を持ってもらいたい
- 学生はどのようなテスト研究に興味を持つのか？
- 日本テスト学会誌に掲載された論文を用いて検討

- 対象論文：

日本テスト学会誌第1～20巻（2005～2024）に掲載され、J-Stageに登録されている140編の学術論文

- 方法：

論文タイトル, 要旨, 内容に基づいて, 第1著者と第2著者で独立に分類

協議, 修正, 再分類等により, 分類カテゴリを生成

一致率：68% → 98% → 100%

- 結果：

12個のカテゴリを作成

分類カテゴリ 1～6

No.	カテゴリ	カテゴリの説明
1	理論	テスト理論, モデル, 方法に関する研究 (IRT除く)
2	IRT	項目反応理論, 項目反応モデルに関する研究
3	CBT	コンピュータを用いたテスト, 適応型テストに関する研究
4	テクノロジー	テストに関係する技術 (テクノロジー) に関する研究
5	テスト開発	テストの開発・改良に関する研究
6	テストの評価	テスト全体の性能・性質の評価に関する研究

分類カテゴリ 7～12

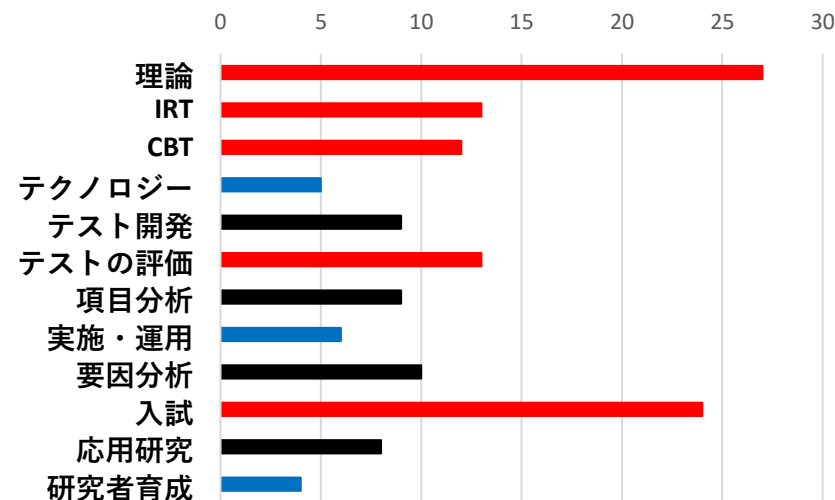
No.	カテゴリ	カテゴリの説明
7	項目分析	テストに含まれる項目の性能・性質の評価に関する研究
8	実施・運用	テストの実施や運用に関する研究
9	要因分析	テスト得点に影響する要因に関する研究（項目分析除く）
10	入試	入試，高大接続に関する研究
11	応用研究	テストを用いた又はテストに関連する応用的な研究（入試除く）
12	研究者育成	総論またはテスト研究者の育成に関する研究

No.	カテゴリ	論文の例
1	理論	測定モデルユーザーのための次元性評価法総論（堀他, 2024）
2	IRT	項目反応理論におけるモデル変換（前川, 2023）
3	CBT	項目に関する事前情報が十分に得られない状況における適応型テストシステム開発の試み（熊谷他, 2013）
4	テクノロジー	統合型eテストティング・システムの開発と実践（ソムファン他, 2008）
5	テスト開発	職業情報サイトでの検索に資する職業能力検査開発の試み（深町他, 2022）
6	テストの評価	CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）の日本語教育への適用可能性に関する基礎研究（野口他, 2021）

No.	カテゴリ	論文の例
7	項目分析	多枝選択式問題作成ガイドラインの実証的検討（坪田他, 2020）
8	実施・運用	わが国の公的試験における試験問題公開の判断基準（若林, 2016）
9	要因分析	英語学習者のリスニングテスト結果に影響を与える要因（柳川, 2013）
10	入試	高得点科目の採用による選抜における合格者の学力の評価について（菊地, 2012）
11	応用研究	項目反応理論と潜在クラス成長分析による自治体学力調査の再分析（川口他, 2019）
12	研究者育成	教養教育段階におけるテストに関する授業開発と実践（木村他, 2017）

- 140編の論文を12個のカテゴリ領域に分類

掲載論文の内訳



- 掲載論文数が多い領域
理論, 入試, テストの評価, IRT, CBT
- 掲載論文数が中程度の領域
要因分析, テスト開発, 項目分析, 応用研究
- 掲載論文数が少ない領域
研究者育成, テクノロジー, 実施・運用

- 対象学生：

本学教育学部の1年生と3年次編入生が、入学年度前期に履修する専門必修科目の受講生84名

- 方法：

オムニバス形式の授業で、第一著者が構成概念の測定に関する講義を行い、140編の論文のうち1つを読んで内容を報告するというレポート課題を設定

- 実施時期：

授業実施日：2025年4月下旬

課題提出締切：5月の連休明け

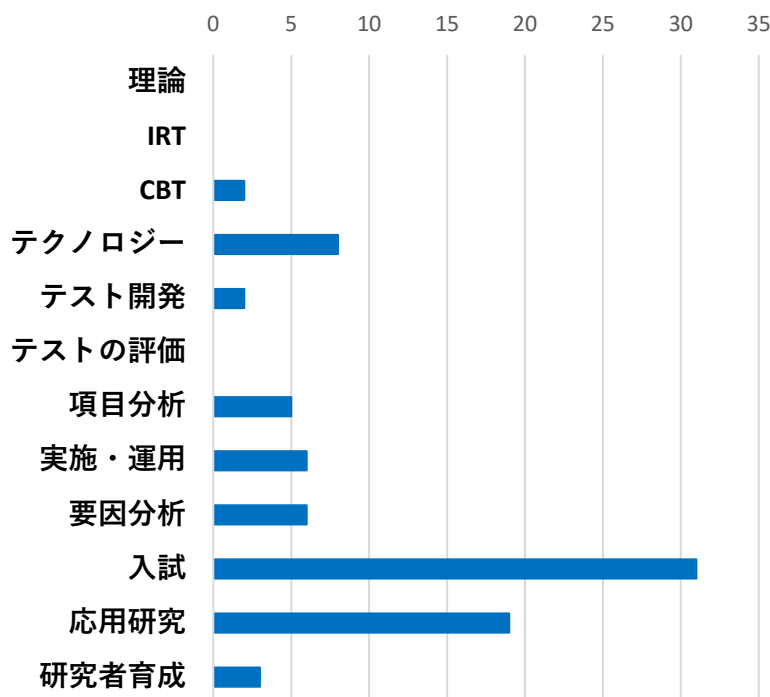
- 学校推薦型選抜：
1次選考：書類 + 共通テスト
2次選考：小論文 + 面接
- 一般選抜（前期日程のみ）：
共通テスト + 個別学力検査
国語（現代文，古文，漢文），数学（Ⅰ，Ⅱ，A，B），英語

共通テストは，推薦・一般ともに6教科8科目（950点満点）
文系型（社2，理1），理系型（社1，理2）のどちらでも受験可能
- 3年次編入試験：
1次選考：書類 + 筆記
2次選考：面接

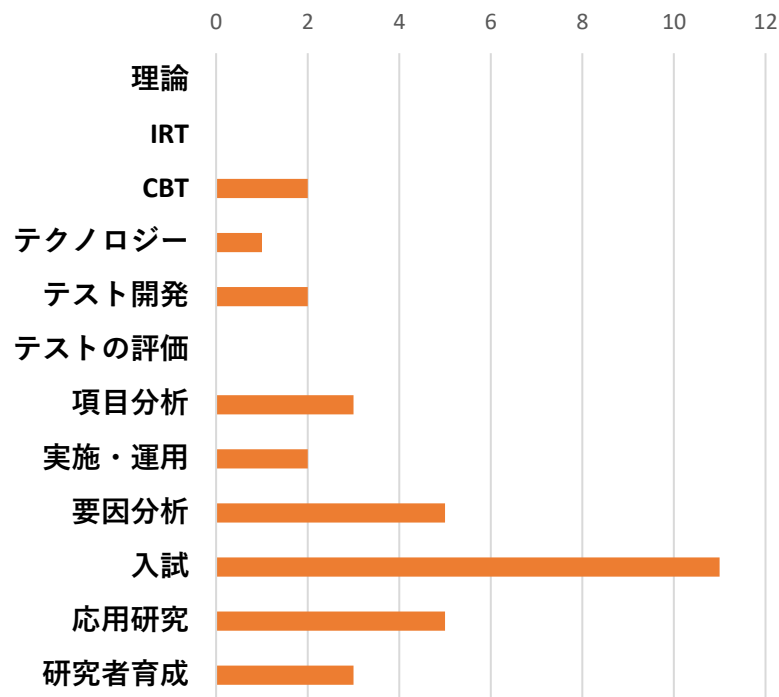
提出数・選択論文数など

- 提出数: **82名**, 提出率: 98% (82/84)
- 選択論文数: **34編**, 選択率: 24% (34/140)

82学生の内訳



34論文の内訳



3名以上の学生が選択した論文

選択数	カテゴリ	論文
10	応用研究	問題解決の間違いからの学習を促す「教訓帰納」の利用における思考のつまずきの解明と支援（柴他, 2024）
8	テクノロジー	ChatGPTにより生成された心理尺度項目の信頼性・妥当性の評価（佐々木他, 2024）
7	入試	大学進学における進路選択プロセスに関する日中比較研究（林他, 2022）
5	入試	センター試験における大学合格率の停滞現象（内田他, 2018）
4	入試	過去問の定義と公平性・妥当性との関連（馬場, 2021）
4	応用研究	小学校6年間の学力変化の分析（宮本, 2018）
3	実施・運用	大学入試における近年の危機対応事例の総括（寺尾他, 2024）
3	入試	転換期の共通試験の受験者動向（内田他, 2022）
3	応用研究	大学生の学業成績の規定因（佐々木他, 2022）
3	実施・運用	大学入試における各国のCOVID-19 対策（南, 2021）
3	項目分析	思考力を測ろうとする多枝選択式問題の解答過程に関する調査に基づく実証分析（荒井, 2020）
3	入試	国立大学における個別学力試験の解答形式の分類（宮本他, 2017）

- ・2024年度の「思考のつまずき」「Chat GPT」、2022年度の「進路選択」などに興味を持った学生が多い

- 選択された論文数が**期待以上に多い**領域

研究者育成，応用研究，要因分析，入試

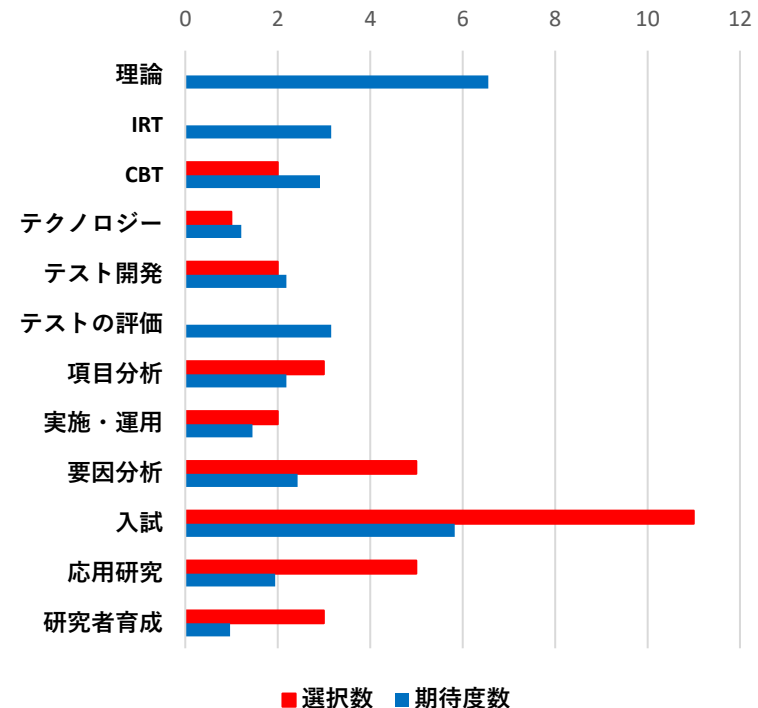
- 選択された論文数がほぼ期待通りの領域（ ± 1 編以内）

項目分析，実施・運用，テスト開発，テクノロジー

- 選択された論文数が**期待より少ない**領域

理論，IRT，テストの評価，CBT

34論文の選択数と期待度数



- 選択した学生数が**期待以上に多い**領域

応用研究，テクノロジー，入試，
実施・運用

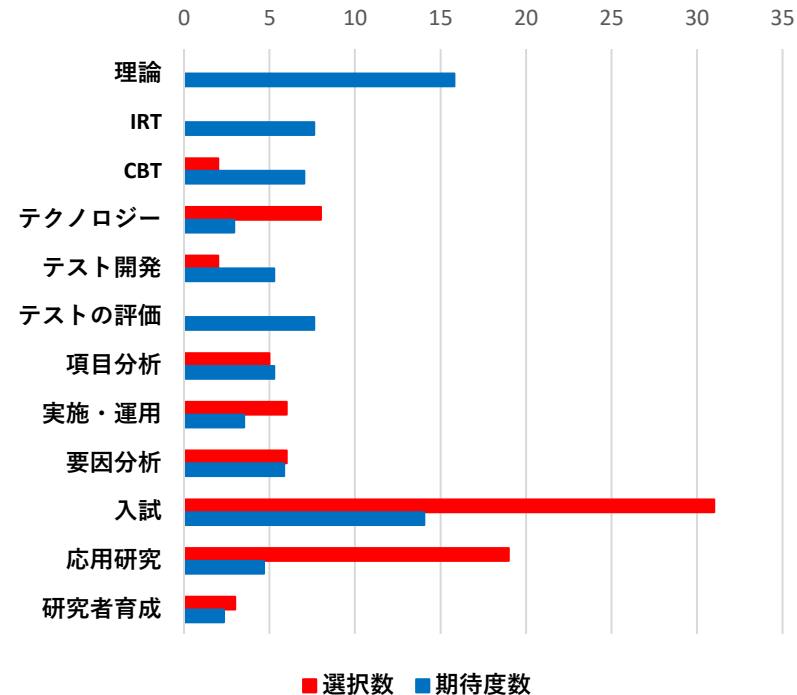
- 選択した学生数がほぼ期待通りの領域（±1名以内）

研究者育成，要因分析，項目分析

- 選択した学生数が**期待より少ない**領域

理論，IRT，テストの評価，CBT，
テスト開発

82学生の選択数と期待度数



- 発行年度：

直近の論文のほうが選択される傾向はあるが、そうでない年度もある

- 入試区分：

推薦・一般・3年次編入間で、とくに違いなし

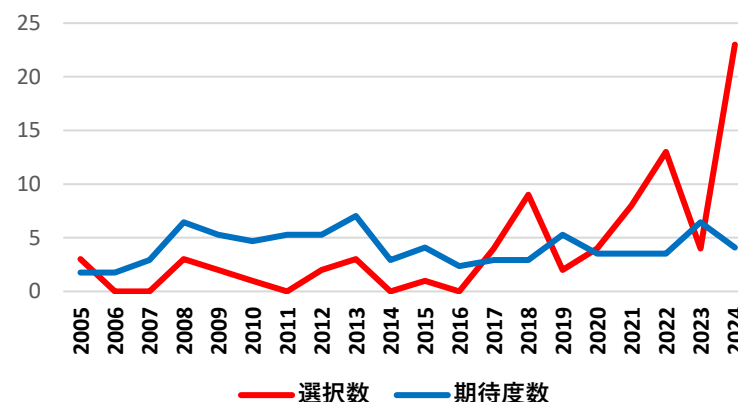
- 成績：

評定値間で、とくに違いなし

- 共通テストパターン：

理系型の人数が少ないため未検討
(理系型の受験者は1割程度)

年度別選択論文数



- 学生が**興味を持ちやすい**領域
入試，応用研究，テクノロジー，
実施・運用
- 学生が興味を持つ程度が中程度の領域
要因分析，研究者育成，項目分析，
テスト開発
- 学生が**興味を持ちにくい**領域
理論，IRT，テストの評価，CBT
- とくに興味を惹いたテーマ
思考のつまずき(応用研究)，Chat GPT(テクノロジー)，
進路選択(入試)，危機対応，COVID-19 (実施・運用)

	論文単位	学生単位
入試	+	+
応用研究	+	+
テクノロジー		+
実施・運用		+
要因分析	+	
研究者育成	+	
項目分析		
テスト開発		-
CBT	-	-
テストの評価	-	-
IRT	-	-
理論	-	-

- 入試は, 掲載数が多く, 学生も興味を持ちやすい
- 応用研究, テクノロジー, 実施・運用は, 掲載数は多くはないが, 学生の興味を惹くものがあった
- 理論系, テストの評価は, 掲載数は多いが, 学生は興味を持ちにくい
- テストに関わる応用的な研究や, とくに興味を惹くテーマから, 学生に興味を持ってもらうのもひとつの方法
- 限界:
入学初期, 一大学・学部の結果